



(128) 食肉畜産業の振興・食肉公社の運営

これまで

- 大和畜産ブランドの推進を図るとともに、ブランド力向上のため、認証制度(奈良県プレミアムセレクト)の運用を進めてきました。
- 安心・安全な食肉を安定的に供給するため、奈良県食肉センターの「と畜事業」を食肉公社に移管しました。

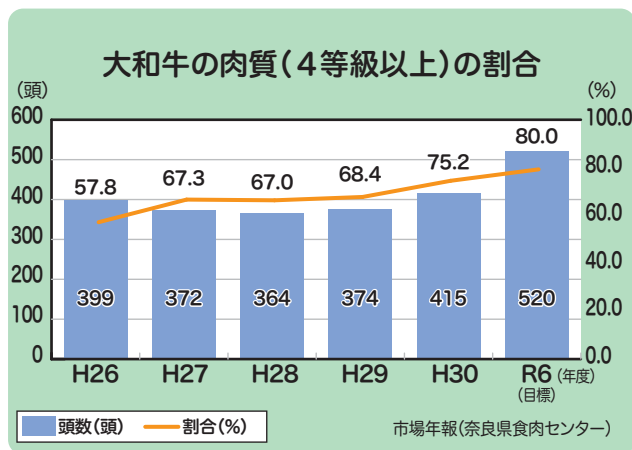
もっと良くするために

- 将来の需要に基づいた生産目標を設定し、意欲ある畜産農家を支援します。
- 衛生管理の行き届いた効率的な食肉センターを運営できるよう、食肉センターを運営していきます。

目指す姿

令和6年度までに大和牛の肉質(4等級以上)の割合を80%以上にします。

大和牛、ヤマトポーク、大和肉鶏等の大和畜産ブランドのブランド力の向上を進めてきたよ！「プレミアムセレクト大和牛」はその一つだよ。



これからも、大和畜産ブランドを推進するため、意欲のある畜産農家を支援していきます。また、皆さんに安心!安全!な食肉を安定的に提供できるよう衛生管理の行き届いた食肉センターを運営していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
奈良県プレミアムセレクト大和牛の安定生産の推進 [優良血統牛の導入支援]	優良血統牛の導入		大和牛の増頭
次世代大和肉鶏の生産体制の確立と流通の推進	次世代大和肉鶏の作出	生産段階へ移行	流通段階へ移行
食肉センターの施設管理、と畜業務等の運営やHACCP対応の整備に対する補助	HACCP対応整備		
	安全・安心な食肉を安定的に供給 (施設管理・と畜業務)		



(129) みつえ高原牧場の整備

これまでは

- 開場以来、約1,500頭の優良和牛の素牛を生産し、畜産農家に供給してきました。
- 今後の畜産振興に活かしていくため、未利用地の活用方法の検討を進めています。
- 東部地域の活性化のため、御杖村と「まちづくりに関する包括協定」を結びました。

もっと良くするために

将来の畜産物の生産目標に基づき、みつえ高原牧場を活用した肉用牛、乳用牛の生産拠点整備と東部地域の振興に取り組めます。

目指す姿

令和4年度にみつえ高原牧場の整備工事に着手します。

都市近郊型の奈良県の畜産業は、新規の農場を整備して生産頭数を規模拡大して生産量を増やすことは難しいんだ。



みつえ高原牧場を有効活用して畜産農家を誘致することで、美味しい大和牛や新鮮な牛乳を増産することができます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
みつえ高原牧場の有効活用	水源調査・用地測量		みつえ高原牧場の整備
みつえ高原牧場への農家の誘致	参入を希望する農家との協議		
畜産物の品質向上や増産	優良和牛の素牛(子牛)の農家への安定供給		



(130) 内水産業の振興

これまで

釣り対象魚の放流による河川漁業の振興、食用魚及び観賞魚の安定生産による養殖業の振興に取り組んできました。

- 河川漁業では、健全でよく釣れるアユの稚魚の放流及び天然アマゴの増殖等により遊漁者を増やす取組の実施
- 養殖業では、安全・安心なアマゴ等食用魚の生産及び消費拡大の取組の実施や金魚等の観賞魚について魚病対策等の安定生産技術の指導

もっと良くするために

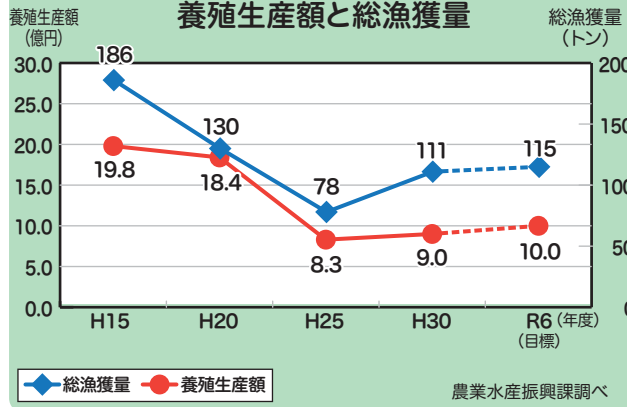
担い手の育成・確保による水産業の持続的な発展や新たな養殖業の展開に取り組めます。

- 養殖業の担い手を育成・確保するとともに意欲ある担い手の新たな挑戦を支援します。
- 地域の食や観光の資源であるアユやアマゴ等の釣りを楽しむ人の増加を図ります。

目指す姿

令和6年度までに金魚やアマゴ等の養殖生産額を10億円にします。
 令和6年度までにアユやアマゴ等の総漁獲量を115トンにします。

養殖生産額も総漁獲量も減少してきているんだね。どうすれば増えるんだろう。



養殖業の担い手を育成・確保することで養殖生産を増やすんです。より多くの人に釣りに来てもらうために、食や観光との連携を進めて釣りの魅力を発信するんです。



主な取組

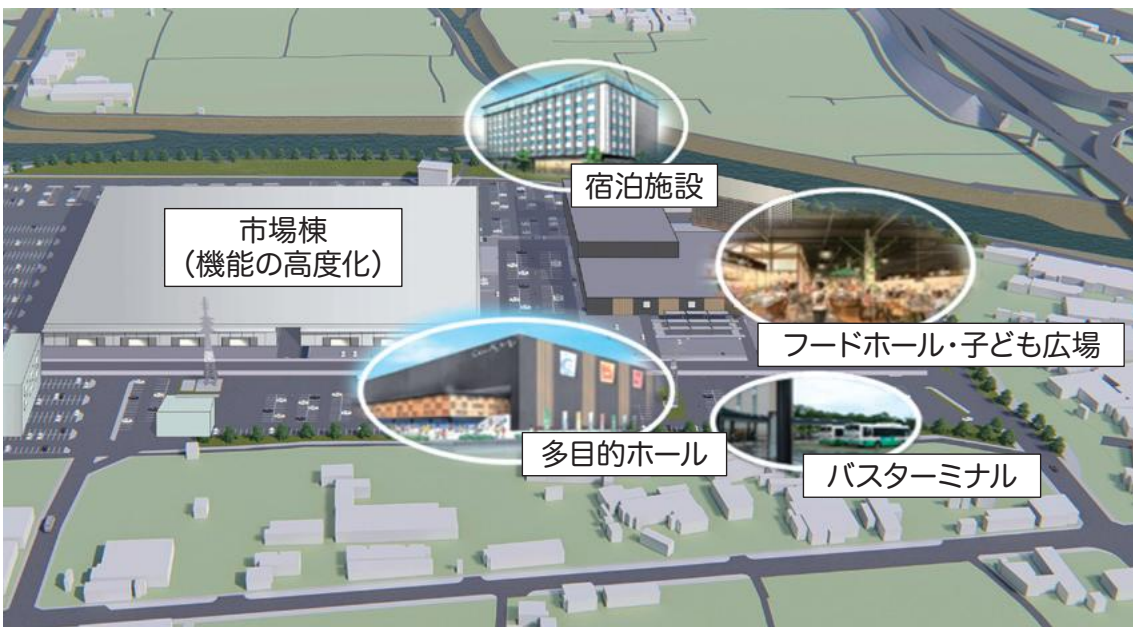
取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
養殖業の担い手育成	就業希望者と養殖業者とのマッチング、養殖業者への雇用者受入体制の充実		
観賞魚養殖の新たな挑戦への支援	観賞魚の高級品種に関する生産、PR、販路拡大及び輸出促進等への支援		
釣り人の誘客促進	釣り教室等釣りに親しむ取組の実施、釣り観光施設の連携の促進		



なら食と農の魅力創造国際大学校での実習風景



ブランド認証制度「奈良県プレミアムセレクト」の運用



中央卸売市場の再整備イメージ